

社会福祉法人経営の現状と課題

- 新たな時代における福祉経営の確立に向けての基礎作業 -

はじめに

章 社会福祉法人の基本的性格・仕組み

社会福祉事業・社会福祉法人の基本的性格
規制・監督と支援・助成

章 従来型の社会福祉法人経営

手厚い施設整備費補助
「一法人一施設」の指導
措置費による運営、再生産コスト調達問題
画一的な施設運営
同族的経営
従来型社会福祉法人経営モデル

章 経営環境の変化

パイの拡大、事業内容の変化
社会福祉制度の変化
規制改革の動き
公的財政の悪化
新たなニーズの発生

【補論】イコール・フッティング論について

章 新たな時代における福祉経営の基本的方向性【試論】

基本的方向性 - 「施設管理」から「法人経営」へ -
「法人単位の経営」に向けて
規制のあり方、行政のあり方の見直し

章 - 1 法人の参入・規模の拡大・退出等のあり方

法人認可等のあり方
合併・事業譲渡の推進
協業化・ネットワーク化、事業転換
退出の促進
経営診断・経営指導

章 - 2 法人単位の資金管理

一般会計内部の資金移動
会計相互間の資金移動
収益事業の規制の見直し
資産運用

章 - 3 ガバナンスの確立、経営能力の向上

理事・理事会の機能強化
法人本部の機能強化、中間管理職層の育成
監事のあり方、情報開示等

【補論】経営能力の向上のための考え方、手法及びツール

章 - 4 資金調達（施設整備（再生産）コストを中心にして）

介護報酬における再生産コスト
（独）福祉医療機構融資
債務保証、担保提供に係る規制緩和、直接金融

【補論】会計処理について

章 - 5 人材育成と確保

介護従事者の質の向上
キャリアパスの形成
介護報酬上の評価
マッチングシステムの強化
雇用管理の改善
労働生産性の向上

章 新しい福祉経営に向けての行政のあり方

新たな「福祉の産業政策」
法人認可のあり方と健全な競争の促進
国、都道府県、市町村の果たすべき役割
行政職員の意識の改革と質の向上
指導監査のあり方

【補論】公益法人改革、医療法人改革の動向

おわりに